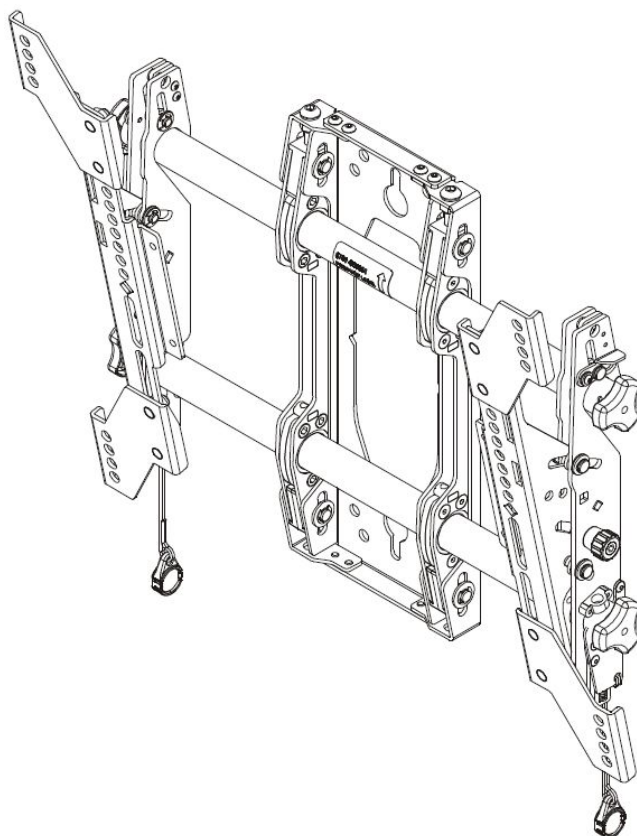


取扱説明書



壁掛けディスプレイマウント 型番：MTMS1U



MTMS1U

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- 壁面の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

-  **警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
-  **警告**：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
-  **警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
-  **警告**：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。
またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
-  **注意**：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設 置 の 前 に**■設置場所について**

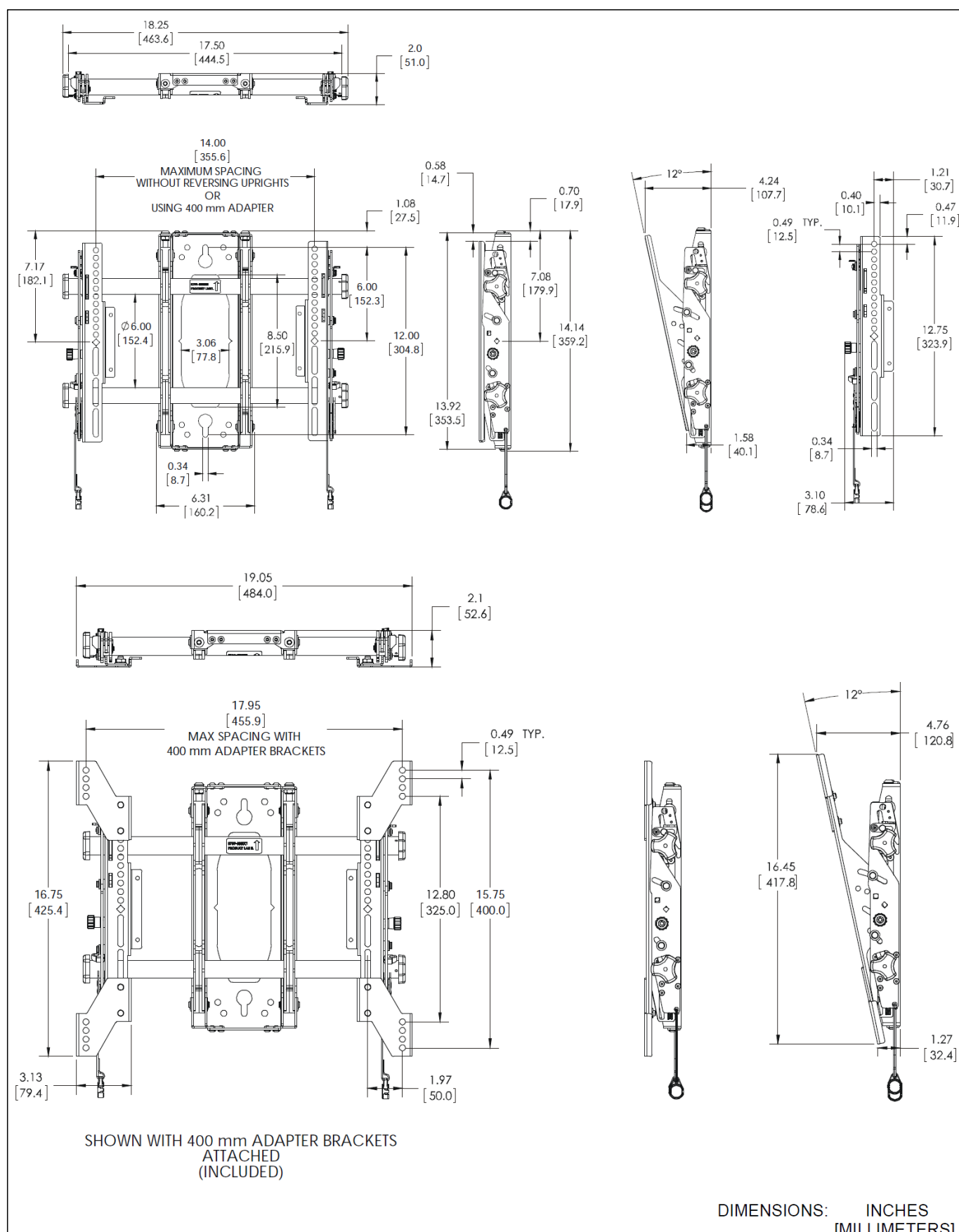
- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造物で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

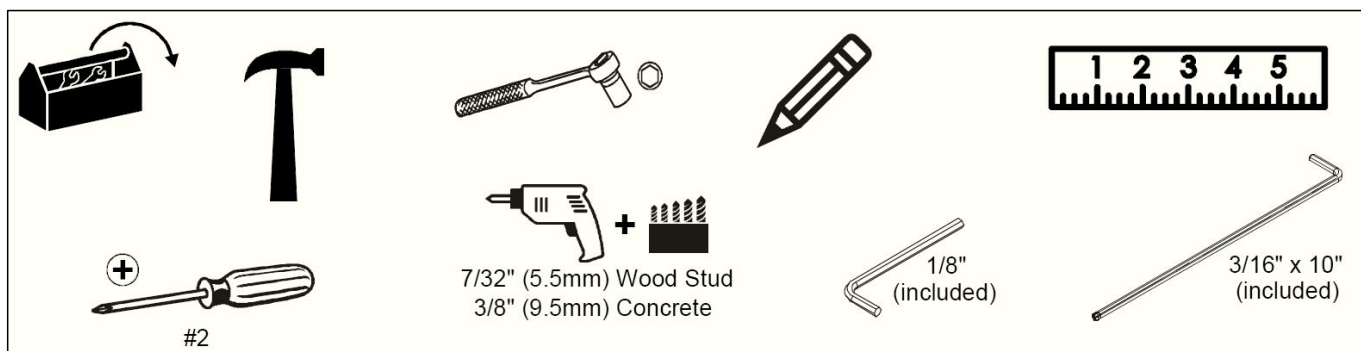
1. 各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。
3. 図に従って壁面への適切な下穴処理やアンカー固定を必要に応じて行なってください。
4. 壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 壁面マウントを壁面にしっかりと取付けてください。壁面マウントの取付穴上下各2ヶ所以上にバランスよく施工してください。

■各寸法図

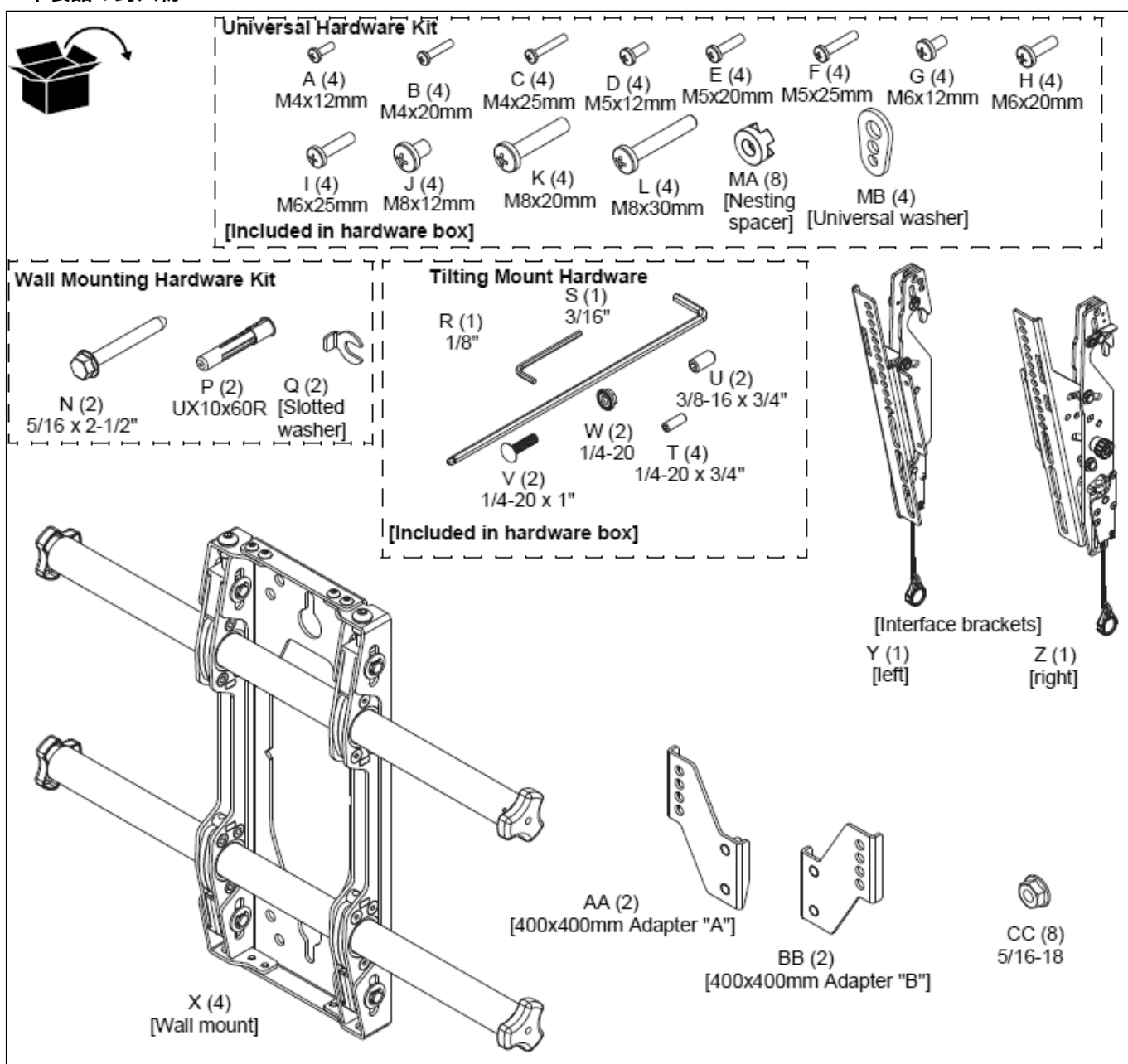


組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物



・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認ください。

■組み立て手順

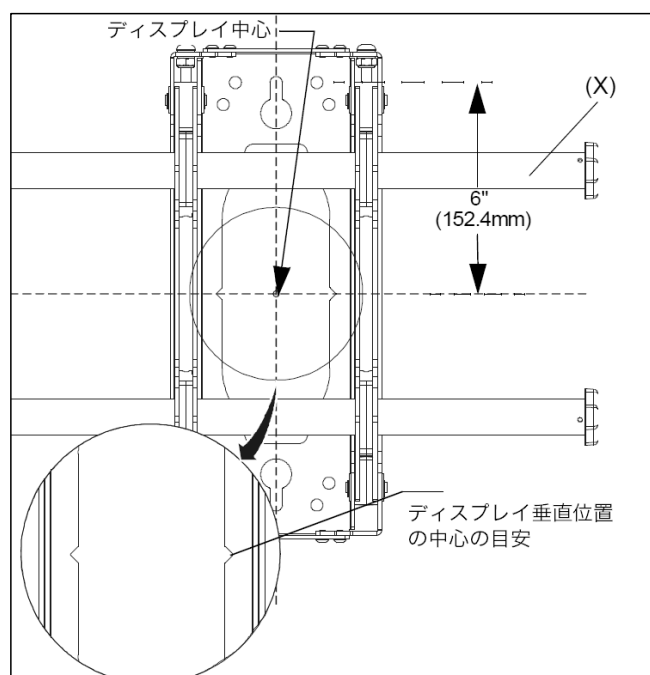
■壁面にマウントを取り付ける

- ⚠ 重要！**：組立て前に必ず寸法図を確認してください。
取付けるディスプレイのサイズにより取付部品
の場所などが変わる可能性があります。

メモ：施工業者の責任において、本製品と取り付ける
全ての製品の重量の5倍に耐えられるよう適切な工
法にて壁材の補強をしてください。
本製品の最大取付荷重は、34kg (75lbs)です。

木製スタッド壁への取り付け

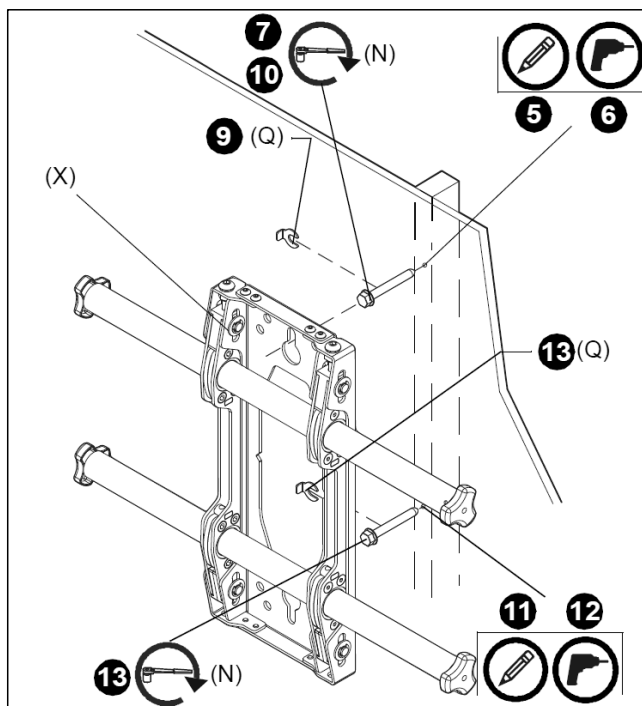
1. テレビ画面の中心と、壁のどこに配置するかを決定しま
す。
2. 選択した場所でスタッドを見つけます。
3. 壁マウント (X) のノッチを画面の中心のマークに合
わせて、垂直方向の中心を決定します。(図1を参照)
4. 中心点から6" (152.4 mm) 上に測定し、上部取り付
けスロットの位置をマークします。



【図-1】

5. スタッドの壁にマークを付け、上部取り付けスロットを
通してマウントを取り付けます。(図2を参照)
6. スタッドに7/32" (5.5mm) 下穴を1つドリルします。
7. 1つの5/16 x 2-1 / 2 "フランジ付きラグボルト (N)
をパイロット穴に部分的に取り付けますが、壁に締め付
けないでください。
8. マウント (X) を吊り下げ、上部取り付けスロットをラ
グボルトに合わせます。
9. 1つのスロット付きワッシャー (Q) をフランジ付きラ
グボルトの上に置きます。(図2を参照)
10. ラグボルトを締めて、マウント (X) を上部取り付けス
ロットの壁に固定します。

8. マウント (X) を吊り下げ、上部取り付けスロットをラ
グボルトに合わせます。
9. 1つのスロット付きワッシャー (Q) をフランジ付きラ
グボルトの上に置きます。(図2を参照)
10. ラグボルトを締めて、マウント (X) を上部取り付けス
ロットの壁に固定します。

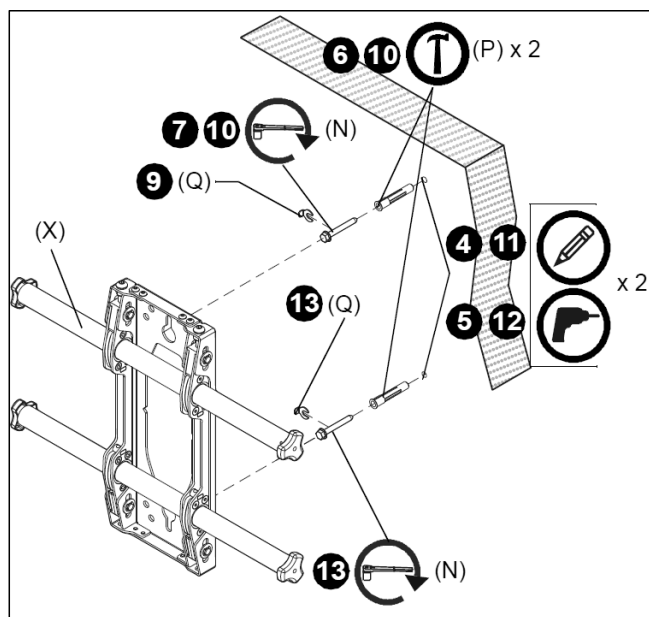


【図-2】

11. 下部取り付けスロットの取り付けポイントに印を付
け、取り付けポイントがスタッドにあることを確認しま
す。(図2を参照)
12. 下側の取り付け穴のマーキングに7/32インチ (5.5m
m) 下穴をドリルで開けます(図2を参照)。
13. 1つの5/16 x 2-1 / 2 "フランジ付きラグボルト (N)
と1つの5/16"スロットワッシャー (Q) を使用して、下
側の取り付け穴を通してマウントを取り付けます。
(図2を参照)
14. レールのロックセクションに進みます。

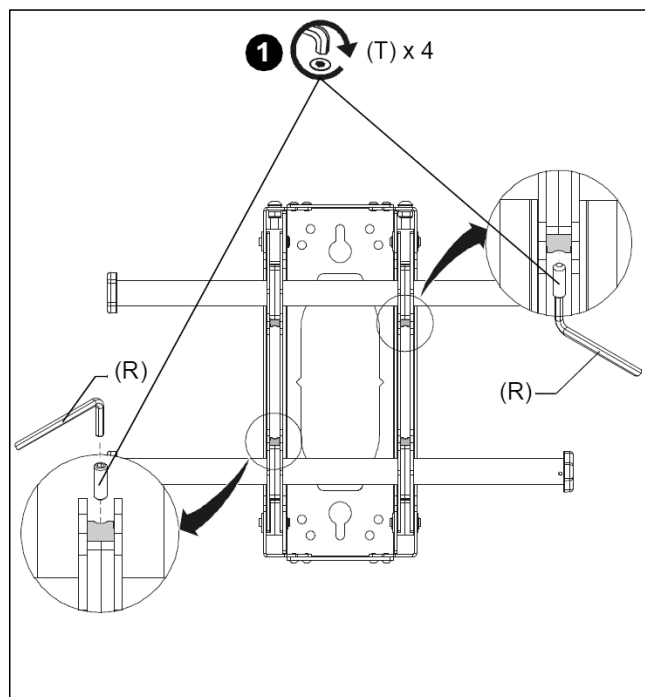
■コンクリート壁への取り付け

- 1.テレビ画面の中心と、壁のどこに配置するかを決定します。
- 2.マウントの切り欠き (X) を画面の中心のマークに合わせて、垂直方向の中心を決定します。(図1を参照)
- 3.中心点から6" (152.4mm) 上に測定し、上部取り付けスロットの位置をマークします(図1を参照)。
- 4.上部取り付けスロットを通して壁に印を付けます。(図3を参照)



【図-3】

- 5.各マーキングに3/8"x 3-1 / 2" (9.5mm x 88.9mm) の下穴を1つ開けます。
- 6.ハンマーを使用して1つのアンカー (P) をパイロット穴に取り付け、アンカーが壁と面一になるようにします。
- 7.1つの5/16 x 2-1 / 2"フランジ付きラグボルト (N) をパイロット穴に部分的に取り付けますが、壁に締め付けないでください。
- 8.マウント (X) を吊り下げ、上部取り付けスロットをラグボルトに合わせます。(図3を参照)
- 9.1つのスロット付きワッシャー (Q) をフランジ付きラグボルトの上に置きます。(図3を参照)
- 10.ラグボルトを締めて、マウント (X) を上部取り付けスロットの壁に固定します。
- 11.下部取り付けスロットの取り付けポイントにマークを付けます。(図3を参照)
- 12.下の取り付け穴のマーキングに3/8"x 3-1 / 2" (9.5mm x 88.9mm) のパイロット穴を開けます。(図3を参照)
- 13.1つの5/16 x 2-1 / 2"フランジラグボルト (N) と1つの5/16"スロットワッシャー (Q) を使用して、下側の取り付け穴を通してマウントを壁に取り付けます。(図3を参照)
- 14.レールをスライドさせて画面のほぼ中央に配置します。



【図-4】

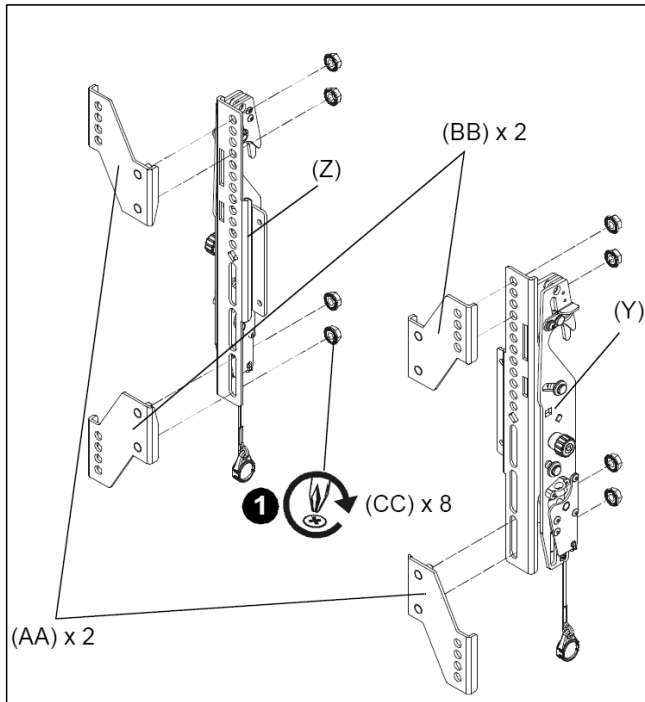
ロッキングレール (オプション)

- 1.マウントアップライト (X) および1/8"六角キー (R) の2つの1 / 4-20 x 3/4"止めねじ (T) を使用して、レールを所定の位置にロックします。(図4を参照)
 - 2.残りの直立マウントについても繰り返します。
- 注：アッパーレールにアッパーセットスクリューを簡単に取り付けるには、六角キー (R) にセットスクリュー (T) を置き、回しながら締めて穴に送り込みます。

■ディスプレイマウントの取付け

- ⚠ 注：**325x325mmから400x400mmの範囲の穴パターンの場合、400x400mmアダプターブラケット（AAおよびBB）を取り付ける必要があります。他のすべての穴パターンについては、ステップ2に進みます。

1. (325x325mmまたは400x400mmの穴パターンのみ) 8つの5 / 16-18六角ナット（CC）を使用して、4つの400x400mmアダプターブラケット（AAおよびBB）を2つのインターフェイスブラケット（YおよびZ）に固定します。（図5を参照）

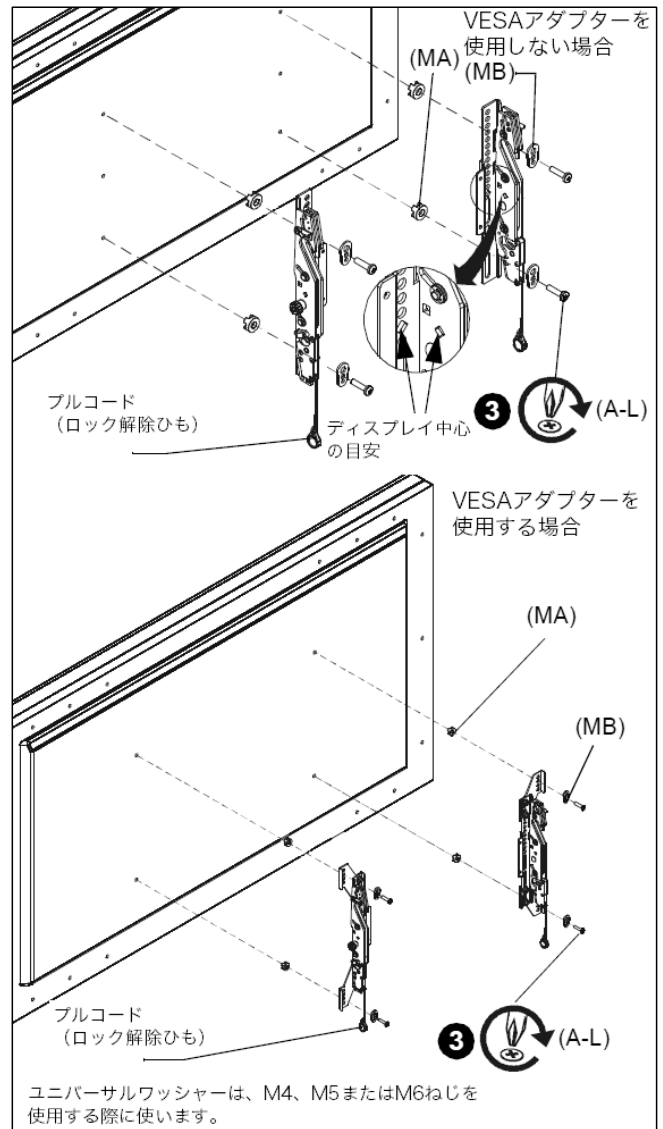


【図-5】

2. ブラケット（YおよびZ）の中心を画面の中心に合わせます。（図6を参照）

- ⚠ 注：**ブラケットのひし形穴は、マウントの中心。
- ⚠ 警告：**不適切なインストールは、深刻な個人の原因となる落下を引き起こす可能性があります。
- ⚠ 機器の損傷または破損！** 不適切なサイズのネジを使用すると、ディスプレイが損傷する可能性があります。適切なサイズのネジは、ディスプレイの取り付け穴に簡単かつ完全にねじ込まれます。スペーサーが必要な場合は、同じ直径の長いネジを使用してください。

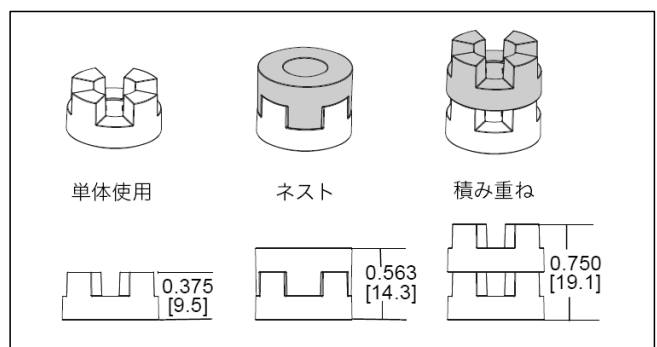
3. ハードウェアバッグ（A-L）から正しいネジ、ネスティングスペーサー（必要な場合）、およびユニバーサルワッシャー（必要な場合）を選択し、ブラケットを画面の背面に取り付けます。（図6を参照）



【図-6】

重要！：M8ねじにはワッシャーは必要ありません。ユニバーサルワッシャー（MB）は、M4、M5、およびM6ネジのみを使用してください。

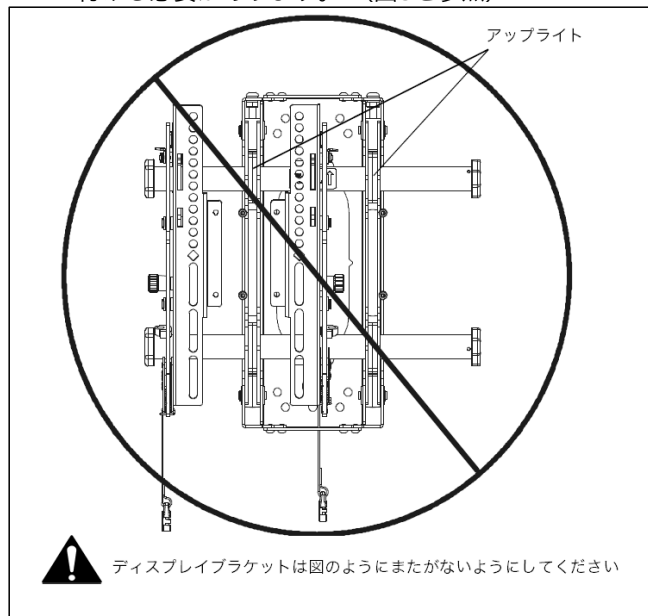
- ⚠ 注：**ネスティングスペーサー（MA）は別々に使用することも、2つを異なる構成で組み合わせて異なるサイズのスペーサーを作成することもできます。（図7を参照）



【図-7】

■壁掛けへのスクリーンの取り付け

- ⚠ 注：**インターフェイスブラケット（YおよびZ）は、壁掛け用の2つのアップライトブラケットの内側に取り付けることはできません。両方のインターフェイスブラケットをアップライトブラケットの外側に取り付ける必要があります。（図8を参照）



【図-8】

- 1.スクリーンをマウント（X）の上部レールに掛けます。（図9を参照）

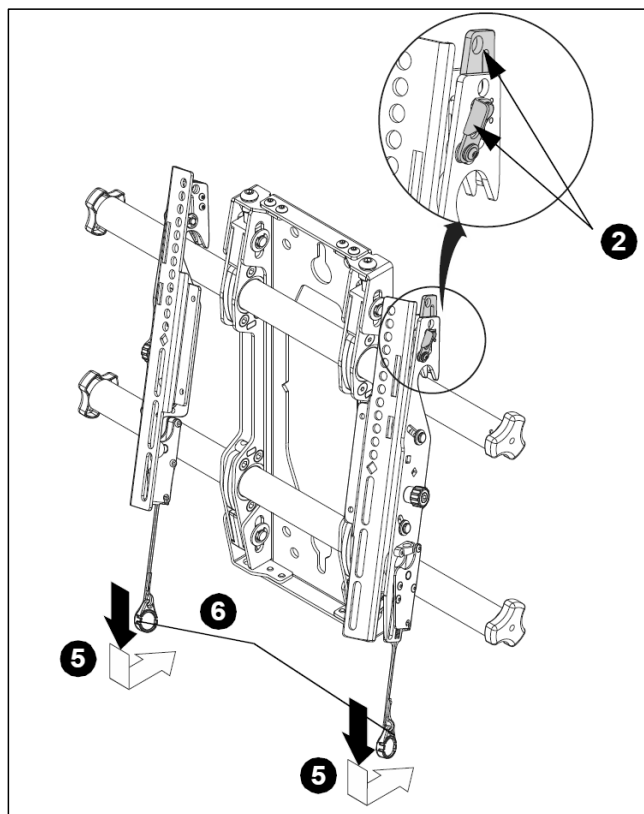
Note：インターフェイスブラケットの上部にあるラッチをOPEN位置に移動し、インターフェイスブラケットの上部フック（YおよびZ）をマウント（X）の上部レールに掛けます。（図9を参照）

- ⚠ 注：**画面は最初に「サービスモード」にインストールされ、ケーブルに簡単にアクセスできます。

- 2.画面とレールを希望の表示位置に調整します。
- 3.壁とレールの間にケーブルを配線します。

- ⚠ 注：**ピンチポイント！ 指、手、ケーブルをピンチポイント領域に近づけないでください。

- 4.プルコードを下に引っ張り、壁に向かって内側にスイングし、インターフェイスブラケットを下側のレールに掛け、スクリーンの下部をマウントに固定します。
- 5.プルコードの端（マグネット）を取り付けて、画面の下部を超えないようにします。（図9を参照）



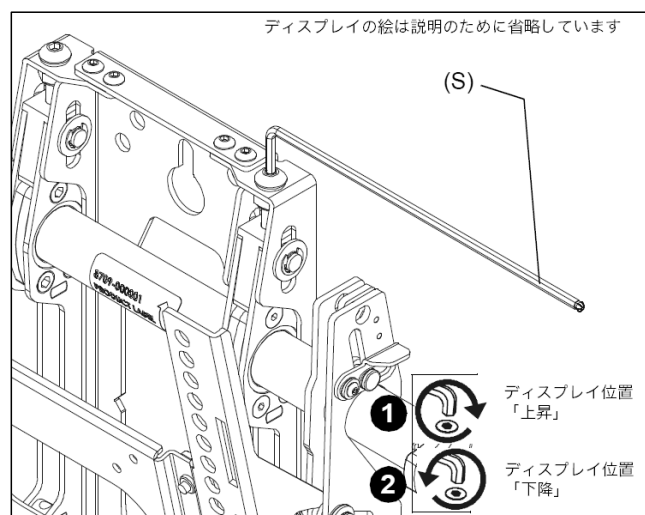
【図-9】

■調整

ウォールブラケットのロール/高さ調整

- ⚠ 注：**高さ調整壁ブラケットは+ 1/2 "の調整を可能にします。

- 1.画面の側面を上げるには、右に回します（締めます）。（図10を参照）
- 2.左（緩める）に回して、画面の下側に移動します。

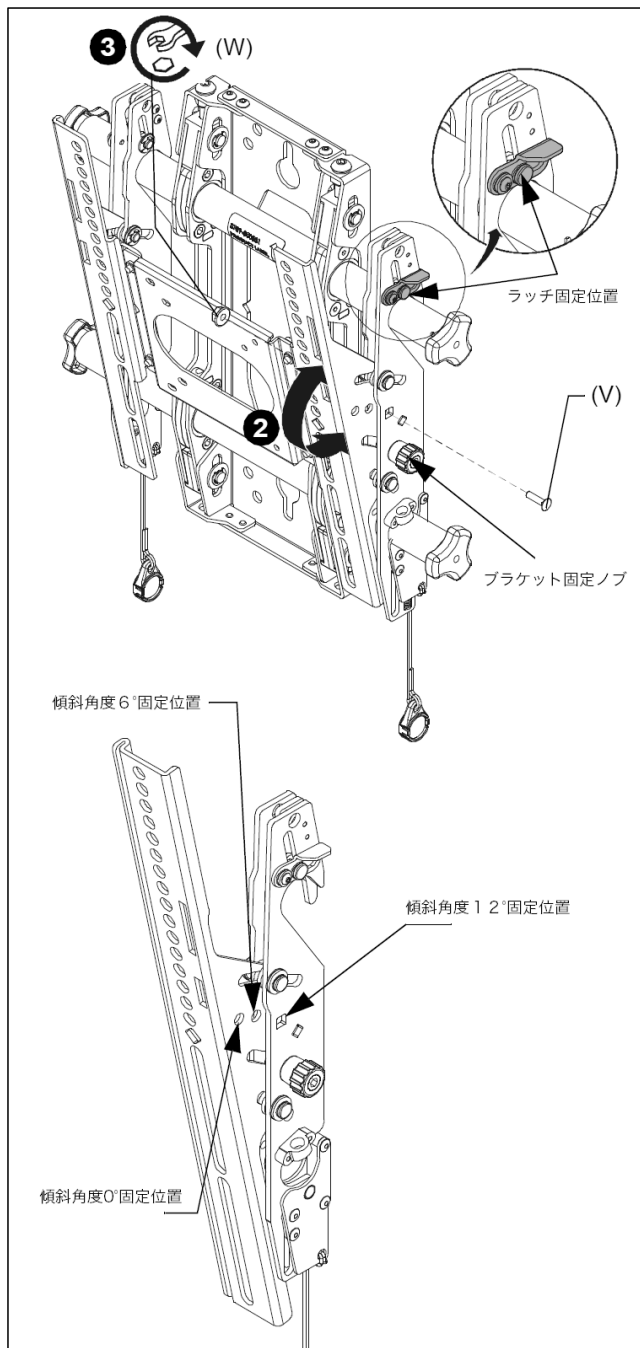


【図-10】

傾斜の調整

インターフェイスブラケット (YおよびZ) は-2°から12°の傾斜が可能で、0°、6°、12°でロックできます。

1. インターフェイスブラケットのノブを緩めます。
2. 必要に応じて傾きを調整します。(図11を参照)
3. 傾斜は、インターフェイスブラケットごとに1つの1 / 4-20 x 1 "丸頭キャリッジボルト (V) と1つの1 / 4-20六角ナット (W) を使用して0°、6°、または12°でロックできます (図11を参照)

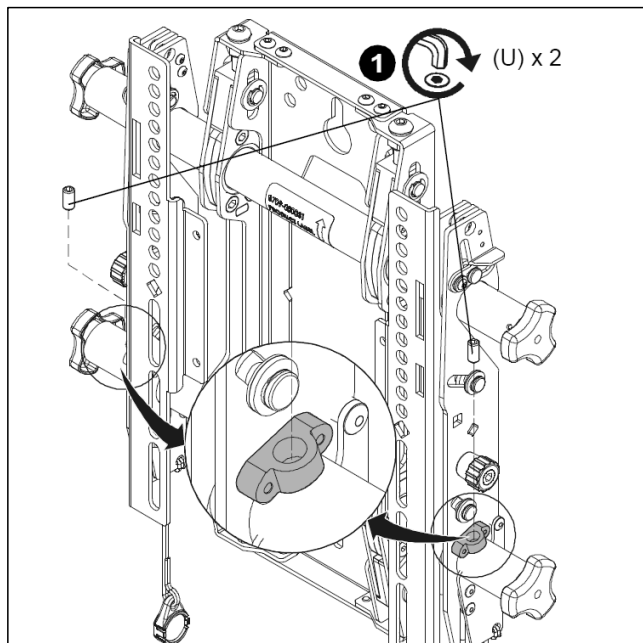


【図-11】

4. 必要に応じて、インターフェイスブラケットのノブを締めます。

ロック画面インターフェイスブラケット (オプション)

1. 各インターフェイスブラケットに3 / 8-16 x 3/4インチの止めネジ (U) を1つ使用して、画面インターフェイスブラケットをマウントレールに固定します (図12を参照)。



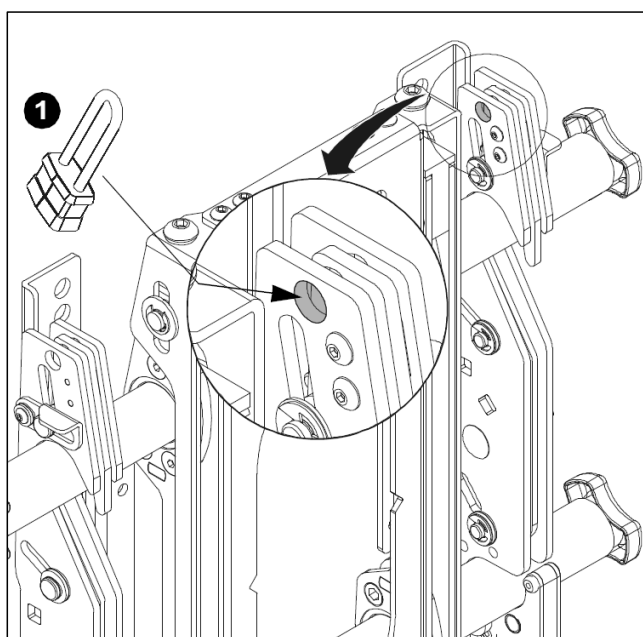
【図-12】

ロッキングマウント (オプション)

1. 安全を確保するために、南京錠 (付属していません) をインターフェイスブラケットに追加します。

(図13を参照)

⚠ 注：南京錠の最大シャックル直径は5/16" (7.9 mm) です。



【図-13】

memo

– <http://www.avc.co.jp/>



■ システム販売事業部

＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8階
＜関西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25

TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144